

第 3 回日野市指定管理者候補者選定委員会議事要点録

日 時	令和元年 8 月 6 日（火）午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分
場 所	市役所 5 階 504 会議室
出席者	坪島委員長、金城委員、奥住委員、比留間委員、小平総務部長、大島企画部長、篠崎子ども部長
議 題	<p>日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ応募者によるプレゼンテーション</p> <p>1.本日の流れ、審査手順説明</p> <p>2.審査（日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ：社会福祉法人 雲柱社） 審査（日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ：B 者）</p> <p>3.前回採点結果報告、次回の説明</p>
議題 1	<p>● 本日の流れ説明、審査手順の説明</p> <p>事務局（企画経営課）より説明。</p> <p>（1）日野市立たまだいら児童館ふれっしゅの応募事業者のプレゼンテーション</p> <p>①事業者（社会福祉法人 雲柱社及び B 者）による説明 20 分</p> <p>②事業者への質疑 20 分</p> <p>③主管課（子育て課）への質疑 10 分</p> <p>④採点 5 分</p> <p>（2）選定結果及び決定について 次回報告する</p>
議題 2	<p>● 審査（日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ：社会福祉法人 雲柱社） 事業計画書に基づくプレゼンテーション</p> <p>=事業者への主な質疑=</p> <p>（質問）意見箱はもう少し目立たない所に置かないと入れにくいのではないかと。 その中でネガティブな意見の具体的な内容を教えてほしい。</p> <p>（回答）別にもう一つ設置してあり、保護者向けとして、市役所の連絡先と共に玄関付近に置いてある。 ネガティブな意見としては、冬、飲食スペースが寒い、奥の部屋が暗い等の意見をいただいている。対応として、暖房が届かない場所なので、マットを敷く対応、暗いというものには明るいライトに取り替えたりした。</p> <p>（質問）もらった意見は利用者に公開しているのか。</p> <p>（回答）年に一度アンケートを取っているものは公開している。意見箱については特に公開していない。</p> <p>（質問）おもちゃ、教材、遊具が汚いという印象を持っている人がいる、一方で、企画提案書の資料には消毒しているとあるが、実態はどうなっているのか。</p> <p>（回答）毎朝、館内の清掃と共に赤ちゃんのおもちゃは消毒液で拭いている。</p> <p>（質問）Wifi の利用は考えているのか。ゲームは悪者か。</p>

- (回答) Wifi の利用については特に考えていない。ゲームは悪者とは考えていない。ゲームは時と場合によっては、人がつながるツールにもなると思っている。
- (質問) 利用者数の増減では、平成 27 年度から平成 30 年度だと 1 万 1 千人減っているが、この増減をどのように分析しているか。
- (回答) 大型マンションと大型ショッピングモールが同時にできたことで、爆発的に増えて、現在は減っているというより、落ち着いてきたという感じである。全体的な人数としては少なくなっているが、時間帯的には人で溢れている現状もある。乳幼児の夕方の利用が増加しており、利用の仕方も変化している。
- (質問) 現在 1 年間の利用者は 4 万 7 千人。館長としては、どのくらいの人数が妥当と考えているのか。
- (回答) 現状でも落ち着いているとは言い切れない。世代によっては、小学生の利用が減っているなど見られるので、常にどのように対応するか考えて対応している。
- (意見) 多摩平の地域を熟知して、現場にも良い意味で緊張感を感じている。歴史のある公立児童館とも差がついてきていると感じた。
- (質問) 館内を見学して照明が暗いと感じたが理由があるのか。
- (回答) 特に理由があるわけではない。偶然、体育館の照明が切れていた。
- (質問) 相談件数を記録しているが、相談における定義はあるのか。
- (回答) 乳幼児の保護者だと、子供の成長や入園に関する事などが多く、カウントに入れている。毎日、受けた相談を職員間で出し合い記録している。
- (質問) 要望、相談、SNS 等コミュニケーションツールはあるか。
- (回答) メールを使っている。SNS は使っていない。メールでスタジオの空き状況の問合せ等はある。
- (質問) 防犯、防災についてマニュアルはあるか。
- (回答) 日野市の防災、防犯マニュアルを使い、多摩平の森ふれあい館にもマニュアルがあるので両方を使用している。
- (質問) 多摩平の地域性をどのように見ているか、また、一押しの事業を教えて欲しい。
- (回答) 引っ越しされて新規で来られる方が非常に多い地域だと感じる。初めて来館する方が毎日、1、2 組は来館する。新しい住民と古くから住んでいる方が混在する地域だと思う。
- 一押しの事業としてはキャンプが挙げられる。ただ、日々の利用者との関わりを児童館運営の中では一番大切にしている。
- (質問) 今年の 1 月から 7 月の間で、いじめや虐待など、他の関係機関と連携を持つような事例はあったか。そういう場合は自館で判断するのか、基幹型に連絡するなどあるのか、対応を教えて欲しい。
- (回答) 下に子ども家庭支援センターがあるので乳幼児で気になるケースがあった場合は先ず一報を入れている。小学生においては学校に連絡を入れ、さらに重要な案件であったならば主管課へ連絡をいれる。
- (回答) 市内で一番多い利用者数となっているが、その要因をどのように考えているの

か。

(意見) 来館のあった人に何かしらを与えられるように心がけている。日々の積み重ねの結果だと感じている。

(質問) 会社として職員の育成に関して他の社と違う、特徴があれば教えて欲しい。

(回答) 法人の研修体制がしっかりあることである。広域で施設数が多いので、日常的に様々な案件を扱っている経験の蓄積があり、ブロック内で共有するようにしている。

(質問) 利用者数が多いが、現在の職員体制で対応できているのか。館外での事業等もあり負担が多くはないのか、現場に負荷がかかり過ぎていないか。

(回答) 交代で休みも取れており健全な職場なので心配はない。

(質問) 事業計画書があるが、将来的な人材確保は大丈夫なのか。

(回答) 少子化による人材確保の難しさも懸念している。地域における幅広い年齢の人々を人材として考えている。地域連携を横断的に押さえて、広い視野で人材の活用ができないか考えている。

(質問) 障害者差別解消法について、合理的な配慮をした事例はあるか。

(回答) 普段から自然に過ごせるよう職員が配慮して対応している。現在、支援級に通っている子供の利用もあり、利用者数が多くなると落ち着かなくなること等もある。その場合は職員が付いて別の場所へ案内し、落ち着くように対応している。

(質問) 保険料について年間の金額が他社の保険料に比べて少なすぎないか。

(回答) 法人全体で入っており、施設単位で入っている訳ではないので、心配いらない。

＝主管課への主な質疑＝

(質問) たまだいら児童館は開館当初から指定管理者による管理だったのか。

(回答) 開館当初は運營業務委託をしていた。地方自治法が改正され、指定管理者制度の導入が始まり、指定管理者による管理となった。

(質問) 収支計画で、パソコンやコピー機の賃借料を安くする努力はできないのか。再リースする等すれば安くなるのではないか。

(回答) 期限が切れても再リースをしないことになっている。

(意見) 施設のスペースを増やすことはできないのか。これだけ人数が増えて、中高生の対応もしている。日曜日や午後7時まで開館していることは良い事である。もっとスペースが広げられると良いと感じた。

● 審査（日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ：B社）

事業計画書に基づくプレゼンテーション

＝事業者への主な質疑＝

(質問) 提案にあった「地域懇談会」という名称は、地域協働課が同じ名称を使って事業展開しているが、名称を同じにするメリット等考えているのか。

- (回答) 内容は地域の声を聞く主旨だが、ネーミングについては検討させていただく。
- (質問) たまだいら児童館の利用状況について、近年利用者が下がっていることは知っているのか。
- (回答) 仕様書等で確認している範囲では承知している。同館の 2 階で子ども家庭支援センターを運営しているので状況は把握しているつもりである。
- (質問) 学習スペースの確保とあるが、現在の児童館の中で確保できるスペースをどのように考えているのか。
- (回答) 倉庫の活用や、一日中確保することは難しいが、定期試験前のみなど、時間を限定して学習スペースを確保する等考えている。
- (質問) 収入と支出はみなみだいら児童館とたまだいら児童館で個別に行うつもりなのか、それとも一緒に行うのか。
- (回答) それぞれ個別に収支については行う。
- (質問) 多摩平地域の利用者の特徴やニーズについてどのように考えているか、教えて欲しい。
- (回答) 「地域子ども家庭支援センター多摩平」を受託者している。その中では、相談件数が非常に多いが、深刻な相談より、コミュニケーションを求めている保護者が多い様子が伺える。気軽に話ができるご近所づきあいが足りない状況があるのかと感じている。たまだいら児童館を運営すれば、3 歳児以上のサポートを同じ法人の中で共有でき、支援できるのではないかと考えている。
- (質問) 地域性や特性の中で一押しの事業は何か。
- (回答) 法人内に専門の職員として、保育園の園長や産前産後のフォロー等を専門としている臨床心理士がいるので、育児相談など提案できると思う。
また、地域のおまつりなど、なるべく中学生などに引っ張ってもらいながら、小学生対応の事業など魅力的なものができると考えている。
- (質問) 「スーパーバイザー」とあるが、実際にはどのような資格を持った人なのか。また、「子ども子育て研究所」との記載がある、詳細を教えて欲しい。
- (回答) 「スーパーバイザー」は施設勤務をしていた社員（教員免許や保育士免許所有者）であり、現場の感覚を持った社員が定期的に現場を回り課題解決を行う業務を担っている。
「子ども子育て研究所」は社内で独立した存在で、無償化の対応等もしており研究所から発信して研修が行われたりしている。
- (質問) 職員体制（職員配置）の決め方は、本部に児童館の利用者数に対応した職員体制等、決まりがあるのか。
- (回答) 環境設定により違ってくる。部屋数などにもよって変わってくるので一概に利用人数と職員数が相対にはならないが、館長不在の際は館長に代わるフリー職員が必要だと考えている。怪我等あった場合には説明できる職員も必要だと考えている。体制作りはしっかり整備していく。
- (質問) みなみだいら児童館と、たまだいら児童館では利用者数は 2 倍であり、違いが

あると思われるが、提案されている職員配置は同じ人数となっている。どういうことなのか。

(回答) みなみだいら児童館は職員配置を手厚くしており、たまだいら児童館は、現指定管理者と同じ現状の配置として適正人数と考えている。また、たまだいら児童館には下の2階も運営しているので、人的なサポートもできると考えている。行事によっては上と下とで協力しながら体制はできると考えている。

(質問) 計画書にはキャンプが目玉としてあるが、自主事業計画には記載がない。どのように考えているのか。

(回答) 基本的には今あるものは、受託後の最初の1年目はそのまま実施することと考えている。キャンプの経費も実施を見込んで見積もりに入れてある。収支に入っていないが、実施はする予定である。

=主管課への主な質疑=

(質問) 子育て課として初めての株式会社の導入となった場合、何らかの特別な意識等はあるのか。近隣市で児童館を運営しているが、見学等したのか。

(回答) 株式会社だからと言うことで、特別に考えていることはない。今後の展開の中でも、株式会社ともっと連携することができるのではないかと考えている。近隣市の児童館も視察しており、特別な意識も、特別な扱いもなく、平等に対応をしている。

議題3

● 前回採点結果報告、次回の説明

事務局（企画経営課）より説明。

①前回の採点の集計結果（日野市立みなみだいら児童館ふらねっと）を事務局から報告し、委員より内容について承認いただいた。

②次回選定委員会について

日時 令和元年8月13日（火）13:30から

場所 市役所5階 504会議室

次回に向けたお願い

～第3回日野市指定管理者候補者選定委員会（日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ）終了～